

入学料免除・徴収猶予申請要領 授業料免除申請要領

2026年度

(大学院・新入生用)

● 2026年度入学料免除・徴収猶予申請

【申請期間】入学手続き時

※申請書類はすべて片面印刷で提出してください。

● 2026年度授業料免除申請

【申請期間】

2026年4月入学者…(前期分)入学手続き時
(後期分)2026年8月中旬頃に掲示板で通知
2026年10月入学者…(後期分)入学手続き時
継続在学生…(前期分)2026年1月下旬頃に掲示板で通知
(後期分)2026年8月中旬頃に掲示板で通知

※申請は前期・後期それぞれに必要です。
各期の免除申請スケジュールは下記の掲示板でお知らせします。
個別に通知はしませんので、申請希望者は必ず掲示を確認願います。

《掲示場所》

旦野原キャンパス 学生センター横(いこいの広場側)掲示板
挾間キャンパス 管理棟1階学務課前掲示板
教務情報システム掲示板
(<https://www1w.kyomu.oita-u.ac.jp/campusweb/>)

大 分 大 学

入学料免除・徴収猶予申請要領

入学料免除・徴収猶予の申請について

免除対象者に該当する場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料の全額または一部を免除することがあります。また、徴収猶予対象者に該当する場合は、入学料の徴収を指定期日まで猶予することがあります。希望者は以下により申請願います。

1. 対象者

【免除対象者】

本学の大学院研究科に入学する正規生で、**経済的理由で入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。入学前1年以内に学資を主として負担している者が死亡した場合、または風水害等の災害を受けた場合は免除の対象とすることがあります。**

【徴収猶予対象者】

本学の大学院研究科に入学する正規生で、**経済的理由で入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。入学前1年以内に学資を主として負担している者が死亡した場合、または風水害等の災害を受けた場合は徴収猶予の対象とすることがあります。**

2. 申請書類

①入学料免除・徴収猶予願（家庭調書）

本人自署、保護者等自署

基準日現在を見越して記入（前期入学…2026年4月1日、後期入学…2026年10月1日）

②家庭調書の内容を証明する書類（詳細は証明書類等一覧表に記載）

就学者でない人全員の所得額・課税額証明書（申請者本人分は所得の有無にかかわらず必要）

＋就学者でない人全員のそれぞれに該当する所得に関する証明書（所得額・課税額証明書以外の源泉徴収票、確定申告書第1表～第3表等）

＋高校生以上の就学者の在学等証明書（国公立大学、国公立高専、専門学校の場合は本学所定様式）

＋該当者が居れば控除に関する書類

＋その他申請状況によっては必要な書類

③博士前期・修士課程入学者は出身大学等の成績証明書（内部進学者は不要）

博士後期・博士課程入学者は指導教員による所見表

④本人収入申立書（様式13）

なお、入学日の属する学期に入学料免除・徴収猶予と授業料免除の両方を申請する場合は添付する証明書類は1組で構いません。

3. 受付期間

入学手続き期間

なお、受付期間を過ぎるといかなる理由でも受け付けはできません。申請漏れのないように注意願います。

また、書類に不足・不備があった場合は、担当から申請者本人に連絡をしますが、連絡が取れなかったり、約束の期日までに不足・不備書類の提出がない場合は、選考対象から除外することがあります。

4. 書類提出先

入学手続き書類提出先に他の入学手続き書類と同封して提出

他の入学手続き書類と容易に区別できるように、免除申請書類をとりまとめて、他の入学手続きの書類と同封してください。

5. 選考結果の通知

①入学料免除・徴収猶予申請者は、選考結果の通知があるまで入学料の納付が猶予されます。

選考結果の通知があるまでは、入学料は納付しないでください。

②申請後に入学を辞退する場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

③選考結果は、前期入学者は6月下旬頃、後期入学者は11月下旬頃に、保護者等に文書で通知されます。

④免除・徴収猶予が不許可となった者及び免除が全額免除とならなかった者で徴収猶予申請を行っていない者は、結果通知の日から14日以内に入学料を納付願います。

また、徴収猶予の許可があった者は、指定された納付期限までに入学料を納付願います。

⑤期限までに入学料が納付されない場合は、入学許可が取り消されます。十分に注意願います。

6. その他

①申請後は申請内容について申請者（学生）に確認をすることがあります。申請者は同一生計家族の状況を把握しておいてください。

また、申請後も必要に応じて他の書類の提出を求める場合があります。

②本学の規則に違反し、または学生としての本分に反する行為をした時、虚偽の真実が判明した時、免除の理由が消滅した時は、許可を取り消すことがあります。

③申請書類等の個人情報、入学料免除・徴収猶予の選考のみに使用し、その他の目的には使用しません。なお、提出された証明書等の書類は、いかなる事情があっても返却できません。

証明書類等一覧表

●は全員提出、○は就学者と就学前の児童を除く同一生計の家族各人に該当するものを所得額・課税額証明書と併せて提出、△は同一生計の家族に該当する人がいる場合に提出、▲は申請者本人が該当する場合に提出

※申請書類はすべてA4用紙に片面で印刷してください。源泉徴収票、領収書等を添付する場合はA4用紙に貼付してください。

必 要 書 類		対 象 者	発行所等	所定様式	備 考
入学料免除・徴収猶予願(原本)	●	申請者全員	申請者、保護者等		署名は各自
所得額・課税額証明書(原本)	●	所得の有無にかかわらず、就学者と就学前の児童を除く本人を含む同一生計の家族全員分。(申請者本人分は所得の有無にかかわらず必要となります。)	市区町村役場	市区町村役場の様式	市区町村役場で発行される最新のもの(記載省略の無いもの) 1年間の収入・所得、市・県民税等の課税額、所得割額、均等割額が記載されているもの。配偶者控除、扶養控除人数の記載があるもの。 各市区町村で名称が異なることがあるので、注意してください。
本人収入申立書	●	申請者全員	申請者	様式13	基準日現在の収入状況を申立
源泉徴収票(コピー)	○	給与所得のある者	勤務先		令和7年分(複数ある場合は全部提出)※
給与等証明書(原本)		新規就職・転職等により現職の収入が記載された証明書類が無い者	勤務先	様式2	1年分の証明(見込みを含む) 証明が受けられない場合は、就職・転職後の3か月以上の給与等が分かる書類のコピー(給与明細等)
決算書及び源泉徴収票(コピー)		役員報酬、自営で会社組織の者	勤務先等		最新のもの
確定申告書の控(コピー)		商・工・林・水・農業所得、雑所得、その他の職業所得、臨時所得がある者で確定申告をしている者	税務署		令和7年分(第1表と第2表は必ず提出してください。第1表、第2表に関連する情報がある場合は第3表以降も提出、令和8年3月申告分)※
市区町村税、県民税申告書の控(コピー)		上記で確定申告をしていない者	市区町村役場		令和7年分(令和8年3月申告分)※
年金の源泉徴収票(コピー)		年金(恩給)を受給している者	日本年金機構等		受給者氏名、年金額のわかる最新のもの(紛失していれば最新の振込通知書コピー)
無職の申立書(原本)		無職の者(18歳以上65歳未満の者)	該当者本人	様式1	基準日現在、雇用保険受給者は雇用保険受給資格者証の写を添付
雇用保険受給資格者証(コピー)		基準日現在、雇用保険の受給がある者	職業安定所		日額、支給日数等受給額が分かるように書類の両面
生活保護受給額のわかる書類(コピー)		生活保護受給世帯の者	社会福祉事務所		申請前直近の受給額のわかる書類
退職金支給(予定)額証明書(コピー)		基準日前1年以内に退職し、退職金の支給(予定)がある者	勤務先		金額、支給日(振込年月日)のわかるもの、支給のない者は退職金なしの申立書(様式5)
退職金無しの申立書(原本)		基準日前1年以内に退職し、退職金の支給(予定)がない者	該当者本人	様式5	
保険金支給証明書(コピー)		基準日前1年以内に保険金(障害、損害、学資等)の支給(予定)を受けた者	保険会社		金額、支給日(振込年月日)のわかるもの、今までに払い込んだ保険料の総額のわかるもの
児童手当通知書(コピー)		基準日現在児童手当を受給している世帯	市区町村役場		受給額のわかる最新のもの 受給していない場合は児童手当受給なしの申立書(様式5)
ひとり親世帯申立書(原本)		ひとり親等世帯	扶養者	様式3	児童扶養手当を受給していれば最新の児童扶養手当通知書(コピー)を添付
障害者手帳(コピー)	△	心身障害者	県等		氏名、等級がわかる部分のコピー
要介護認定通知書(コピー)		要介護2以上の認定者	市区町村役場		最新(有効期間内)のもの
長期療養証明書(原本) または、医療費等集計表(原本)＋病院・薬局の領収書(コピー)		6ヶ月以上の診療(通院)者	病院等	様式6 または 様式7	直近1年分
医療費等集計表(原本)＋介護費用の領収書(コピー)		介護サービスの受給者	介護施設等	様式7	直近1年分、内訳(介護サービス、食費、雑費)がわかるもの
単身赴任経費集計表(原本)＋自費負担の住居費、光熱水費の領収書等(コピー)		学資負担者が単身赴任の場合	電力会社等	様式8	住居費、光熱水費直近1年分
被害状況届(原本)及び罹災証明書(コピー)		地震・風水害・火災等の被害を受けた者	消防署等	様式9	
兄弟等の在学状況等証明書(原本)		兄弟姉妹が高校生以上の就学者	在学学校等	様式4	国公立大学、国公立高専、各種専門学校は必ず様式4、その他は各学校の様式で可

必 要 書 類			対 象 者	発行所等	所定様式	備 考
その他の書類	戸籍抄(謄)本(コピー)または死亡診断書(コピー)	△	基準日前1年以内に学資負担者が死亡した場合	市区町村役場、病院		退職金、保険金の受給があれば証明書類を添付(支給日、金額のわかるもの)
	(1) 独立生計申立書(原本)	▲	独立生計者	本人	様式10	1ヶ月の収入金額、支出金額が妥当であること
	(2) 健康保険証(コピー)または健康保険の被保険者であることが証明できる書類			保険者、市区町村役場		健康保険証(コピー)以外を提出する場合、国民健康保険加入者は最新の納税決定通知書(納付書)コピー、社会保険加入者は直近の給与明細のコピー
	(3) 父母等の所得証明書(原本)			市区町村役場		初回のみ
	(1) 本国からの送金の有無を確認する書類(原本)	▲	私費外国人留学生	本人	様式12	本人の申立書(原本)
	(2) 独立生計申立書(原本)			本人	様式11	1ヶ月の収入金額、支出金額が妥当であること
	(3) 父母等の公的機関発行の所得証明書(原本)			公的機関		
	所見表	▲	博士後期・博士課程入学者	指導教員		入学後、1ヶ月以内に提出 様式は学生・留学生支援課に請求
	成績証明書		博士前期・修士課程入学者	出身学校		卒業時の確定したもの (内部進学者は不要)

・ 入学料免除・徴収猶予と授業料免除の両方を申請されるときは証明書類は1組で結構です。

・ 他に必要に応じて追加の証明書類の提出を依頼することがあります。

・ 証明書類の未提出は、書類不備で免除対象から除外されます。

※申請時に提出できない書類については、その旨を付箋等にメモ書きすると共に準備ができ次第速やかに学生・留学生支援課に提出してください。郵送先は裏表紙に記載しています。

入学料免除の実績

入学料免除のみの申請で不許可になった場合や全額免除とならなかった場合は、入学料免除選考結果発表後14日以内に所定の入学料を支払わなければなりません。14日以内に納付されない時は入学が取り消しとなります。

入学料徴収猶予を申請し許可された場合は、前期入学者は9月末日、後期入学者は3月末日まで入学料の納付を猶予します。猶予期限までに納付がない時は入学が取り消しとなります。

入学料免除は予算が限られており免除となる人は極めて少数ですので、ご留意願います。

(2024年度前期実績)

大学院生 申請 37名 全額免除 0名 半額免除 16名 不許可 21名

該当者は☑してください。□住民税非課税世帯 □東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震被災者（主たる家計支持者が所有する自宅家屋が半壊以上） □平成30年7月豪雨、令和元年中の激甚災害（主たる家計支持者が所有する自宅家屋が半壊または床上浸水以上）

【記入要領】

※申請を希望するものについて、いずれかのアルファベットを必ず○で囲んでください。

※申請を希望するものについて、いずれかのアルファベットを必ず○で囲んでください

2026年度 入 学 料

A. 徴収猶予のみ
B. 免除及び徴収猶予 願
C. 免除のみ

基準日（前期入学は基準日：2026年4月1日
後期入学は基準日：2026年10月1日）を記入し、内容も基準日現在を見込んで記入してください。

年 月 日

学部
研究科

受験番号

学籍番号

本人及び保護者等氏名は、各自が自署してください。

フリガナ
本人氏名

入学後に決まるため記入不要。

※
男
女

(自署)保護者等（本人との続柄

フリガナ
氏 名

私は、家庭調書に記載のとおり入学料の納付が困難ですので、2026年度入学料の免除・徴収猶予を許可くださるようお願いします。なお、免除・徴収猶予の判定期間中は、入学料の納付を猶予くださるよう併せてお願いします。ただし、入学料免除の結果が全額免除とならなかった場合、あるいは入学料徴収猶予の結果が不許可となった場合は、結果を告知した日から14日以内に、入学料徴収猶予の許可を受けた場合は指定の期限内までに入学料を必ずお支払いします。支払わない場合は大分大学の入学許可が取り消しとなっても差し支えありません。なお、入学辞退をした場合はいかなる事由でも入学料を納付します。

(前期基準日：2026年4月1日 後期基準日：2026年10月1日)

※ 太線枠内は大学記入欄につき記入不要

学生本人が記入してください。

家庭調書

①本人住所

本人が入学後に居住する住所を記入してください。（未定の場合は記入せずに提出してください。）

職業は会社員、地方公務員、食料品小売業、農業等、勤務先は〇〇会社、△△市役所、××商店等、無職の場合も主婦、年金受給等具体的に記入し空欄にしないでください。

②家族住所

同居・別居を問わず申請者と生計を一にする者を全員記入してください。同居の家族は同一生計とみなします。

③就学者

同一生計の家族及び所得

氏 名

年齢

職業・勤務先及び収入状況等

現 職
就職年月

給 与 ・ 年 金 の
収 入 金 額

年間収入金額

給与以外所得金額

商・工・林・水・
農業所得

雑 所 得

父又は母死亡・生別の場合

その年月（ 年 月） 理 由（ ）

主たる家計支持者無職（失職）の場合

その年月（ 年 月） 理 由（ ）

理由は、病死、事故死、離別、定年退職、会社閉鎖等と具体的に記入してください。

家計支持者と同居している祖父母、同一生計で各種学校、幼稚園、予備校等、「④ 就学者」欄以外の者を記入してください。

主たる家計支持者に○印

家計支持者と同居している者に×印

同一生計の家族及び所得者	④	※通学別	続柄	氏名	年齢	※設置者	在学学校名	学年	入学年度	※授業料免除				本人収入 (独立生計者) (定職、送金等)	
		自宅・自宅外	本人				国立大分大学				兄弟姉妹等前年度免除状況 (国公立大学等在学者のみ)				給与等
		自宅・自宅外									前期	後期		千円	
		自宅・自宅外								全	半	無	全	半	無
		自宅・自宅外								授業料年額 千円					
		自宅・自宅外								全	半	無	全	半	無
		自宅・自宅外								授業料年額 千円				雑所得、仕送り等	
		自宅・自宅外								全	半	無	全	半	無
		自宅・自宅外								授業料年額 千円				千円	
		自宅・自宅外								全	半	無	全	半	無
自宅・自宅外									授業料年額 千円				所得金額		
⑤	臨時 有・無	退職金	退職者氏名	収入期日			年	月	日	千円					
		退職一時金	勤続年数	年	一般・障害・死亡退職の別	収入金額			千円						
		保険金	申請前1年以内(2025年4月~2026年3月)に受給した臨時収入(予定を含む。)、有無を○で囲んでください。			年	月	日	千円						
			生命保険(満期・障害・死亡)・損害保険の別	必要経費	千円										
		資産の譲渡による所得	収入期日:	年	月	日	収入金額	千円	千円						
		山林所得	収入期日:	年	月	日	収入金額	千円	千円						
⑥	障害 関係	※種別	本人との続柄	療養等の期間				療養に要した費用							
		心身障害・原爆被爆・長期療養(6ヶ月以上)		年 月 日 ~				千円							
		心身障害・原爆被爆・長期療養(6ヶ月以上)	手帳の発行年月日、療養の開始日等	年 月 日 ~				千円							
		心身障害・原爆被爆・長期療養(6ヶ月以上)		年 月 日 ~				千円							
⑦ 免除・徴収猶予を願い出た特別な事情及び理由を具体的に記入してください。 ※理由は3行以上記入すること。															
単に「家計困難」と書くのではなく、その困難な理由、申請する事情及び家庭調書に表せない事情等を具体的に記入してください。また、主たる家計支持者が、無職、失業等の場合は、就業見込の有無及び生活費の出所を明記してください。															

授業料免除申請要領

授業料免除の申請について

免除対象者に該当する場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ、予算の範囲内で授業料の全額または一部を免除することがあります。希望者は以下により各期（前期・後期）ごとにそれぞれ申請願います。

1. 対象者

【免除対象者】

- ・ 本学の大学院研究科に在学する正規生で、経済的理由で授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。各期の授業料納付前6ヶ月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は入学前1年以内）に学資を主として負担している者が死亡した場合、または風水害等の災害を受けた場合は授業料免除の対象とすることがあります。また、下記の者についても授業料免除の対象となります。
 - ・ 最新の所得額・課税額証明書が住民税非課税世帯（同一生計者全員の所得割額が0）である者
- ※留年中または卒業延期になっている者は、原則として免除対象となりません。

2. 申請書類

①授業料免除願（家庭調書）

本人自署、保護者等自署

基準日現在を見越して記入（前期…2026年4月1日、後期…2026年10月1日）

②家庭調書の内容を証明する書類（詳細は証明書類等一覧表に記載）

就学者でない人全員の所得額・課税額証明書（申請者本人分は所得の有無にかかわらず必要）

＋就学者でない人全員のそれぞれに該当する収入に関する証明書（所得額・課税額証明書以外の源泉徴収票、

確定申告書第1表～第3表等）

＋高校生以上の就学者の在学等証明書（国公立大学、国公立高専、専門学校の場合は本学所定様式）

＋該当者が居れば控除に関する書類

＋その他申請状況によっては必要な書類

③博士前期・修士課程入学者は出身大学等の成績証明書（内部進学者は不要）、

博士後期・博士課程入学者は指導教員による所見表

④本人収入申立書（様式13）

なお、新規入学者で入学日の属する学期に入学料免除・徴収猶予と授業料免除の両方を申請する場合は添付する証明書類は1組で構いません。

3. 受付期間

2026年4月入学者…（前期分）入学手続き時

（後期分）令和8年（2026年）8月頃に掲示板で通知する期間

2026年10月入学者…（後期分）入学手続き時

継続在学者…（前期分）2026年1月下旬頃に掲示板で通知する期間

（後期分）2026年8月中旬に掲示板で通知する期間

※個別に通知はしません。各自掲示板を確認願います。

※申請期間中に申請書類を未提出の人は、基準日までに家計支持者の死亡や災害があった場合等を除き、いかなる理由でも授業料免除申請はできませんので、申請希望者は掲示に注意願います。

※在学者は郵送での申請は留学中等やむを得ない場合を除き受付できません。必ず申請期間中に所定の場所に提出してください。

なお、書類に不足・不備があった場合は、担当から申請者本人に連絡をしますが、連絡が取れなかったり、約束の期日まで不足・不備書類の提出がない場合は、選考対象から除外することがあります。

4. 書類提出先

新規入学者…入学手続き書類提出先に他の入学手続き書類と同封して提出

他の入学手続き書類と容易に区別できるように、免除申請書類をとりまとめて、他の入学手続きの書類と同封してください。

継続在学者…掲示で受付場所を通知

5. 選考結果の通知

①授業料免除申請者は、選考結果の通知があるまでその期の授業料の納付が猶予されたものとして扱います。

選考結果の通知があるまでは、授業料は納付しないでください。なお、口座引落にされている方は、結果発表までその期の授業料は引き落とされません。

②選考結果は、本人に大学から配布のあったメールアドレスに個別にメールで通知があります。

③期限までに授業料が納付されない場合は、除籍となります。十分に注意願います。

※結果の通知方法については変更することがあります。その際は掲示でお知らせします。

6. その他

①申請後は申請内容について申請者（学生）に確認をすることがあります。申請者は同一生計家族の状況を把握しておいてください。

また、申請後も必要に応じて他の書類の提出を求める場合があります。

②本学の規則に違反し、または学生としての本分に反する行為をした時、虚偽の真実が判明した時、免除の理由が消滅した時は、許可を取り消すことがあります。

③申請書類等の個人情報、授業料免除の選考のみに使用し、その他の目的には使用しません。なお、提出された証明書等の書類は、いかなる事情があっても返却できません。

証明書類等一覧表

●は全員提出、○は就学者と就学前の児童を除く同一生計の家族各人に該当するものを所得額・課税額証明書と併せて提出、△は同一生計の家族に該当する人がいる場合に提出、▲は申請者本人が該当する場合に提出

※申請書類はすべてA4用紙に片面で印刷してください。源泉徴収票、領収書等を添付する場合はA4用紙に貼付してください。

必 要 書 類		対 象 者	発行所等	所定様式	備 考
授業料免除額(原本)		● 申請者全員	申請者、保護者等		署名は各自
所得に関する書類	所得額・課税額証明書(原本)	● 所得の有無にかかわらず、就学者と就学前の児童を除く本人を含む同一生計の家族全員分。(申請者本人分は所得の有無にかかわらず必要となります。)	市区町村役場	市区町村役場の様式	市区町村役場で発行される最新のもの(記載省略の無いもの) 1年間の収入・所得、市・県民税等の課税額、所得割額、均等割額が記載されているもの。 配偶者控除、扶養控除人数の記載があるもの。 各市区町村で名称が異なることがあるので、注意してください。
	本人収入申立書	● 申請者全員	申請者	様式13	基準日現在の収入状況を申立
	源泉徴収票(コピー)	○ 給与所得のある者	勤務先		令和7年分(複数ある場合は全部提出)※
	給与等証明書(原本)		勤務先	様式2	1年分の証明(見込みを含む) 証明が受けられない場合は、就職・転職後の3カ月以上の給与等が分かる書類のコピー(給与明細等)
	決算書及び源泉徴収票(コピー)		役員報酬、自営で会社組織の者	勤務先等	最新のもの
	確定申告書の控(コピー)		商・工・林・水・農業所得、雑所得、その他の職業所得、臨時所得がある者で確定申告をしている者	税務署	令和7年分(第1表と第2表は必ず提出してください。第1表、第2表に関連する情報がある場合は第3表以降も提出、令和8年3月申告分)※
	市区町村税、県民税申告書の控(コピー)		上記で確定申告をしていない者	市区町村役場	令和7年分(令和8年3月申告分)※
	年金の源泉徴収票(コピー)		年金(恩給)を受給している者	日本年金機構等	受給者氏名、年金額のわかる最新のもの(紛失していれば最新の振込通知書)
	無職の申立書(原本)		無職の者(18歳以上65歳未満の者)	該当者本人	様式1 基準日現在、雇用保険受給者は雇用保険受給資格者証の写を添付
	雇用保険受給資格者証(コピー)		基準日現在、雇用保険の受給がある者	職業安定所	日額、支給日数等受給額が分かるように書類の両面
	生活保護受給額のわかる書類(コピー)		生活保護受給世帯の者	社会福祉事務所	申請前直近の受給額のわかる書類
	退職金支給(予定)額証明書(コピー)		基準日前6ヶ月以内に退職し、退職金の支給(予定)がある者	勤務先	金額、支給日(振込年月日)のわかるもの、支給のない者は退職金なしの申立書(様式5)
	退職金無しの申立書(原本)		基準日前6ヶ月以内に退職し、退職金の支給(予定)がない者	該当者本人	様式5
	保険金支給証明書(コピー)		基準日前6ヶ月以内に保険金(障害、損害、学資等)の支給(予定)を受けた者	保険会社	金額、支給日(振込年月日)のわかるもの、今までに払い込んだ保険料の総額のわかるもの
	児童手当通知書(コピー)		基準日現在児童手当を受給している世帯	市区町村役場	受給額のわかる最新のもの 受給していない場合は児童手当受給なしの申立書(様式5)
	ひとり親世帯申立書(原本)		ひとり親等世帯	扶養者	様式3 児童扶養手当を受給していれば最新の児童扶養手当通知書(コピー)を添付
控除に関する書類	障害者手帳(コピー)	△ 心身障害者	障害者	県等	氏名、等級がわかる部分のコピー
	要介護認定通知書(コピー)		要介護2以上の認定者	市区町村役場	最新(有効期間内)のもの
	長期療養証明書(原本) または、医療費等集計表(原本)＋病院・薬局の領収書(コピー)		6ヶ月以上の診療(通院)者	病院等	様式6 または 様式7 直近1年分
	医療費等集計表(原本)＋介護費用の領収書(コピー)		介護サービスの受給者	介護施設等	様式7 直近1年分、内訳(介護サービス、食費、雑費)がわかるもの
	単身赴任経費集計表(原本)＋自費負担の住居費、光熱水費の領収書等(コピー)		学資負担者が単身赴任の場合	電力会社等	様式8 住居費、光熱水費直近1年分
	被害状況届(原本)及び罹災証明書(コピー)		地震・風水害・火災等の被害を受けた者	消防署等	様式9
	兄弟等の在学状況等証明書(原本)		兄弟姉妹が高校生以上の就学者	在学学校等	様式4 国公立大学、国公立高専、各種専門学校は必ず様式4、その他は各学校の様式で可

必 要 書 類			対 象 者	発 行 所 等	所 定 様 式	備 考
そ の 他 の 書 類	戸籍抄(謄)本(コピー)または死亡診断書(コピー)	△	基準日前6ヶ月以内に学資負担者が死亡した場合	市区町村役場、病院		退職金、保険金の受給があれば証明書類を添付(支給日、金額のわかるもの)
	(1)独立生計申立書(原本)	▲	独立生計者	本人	様式10	1ヶ月の収入金額、支出金額が妥当であること
	(2)健康保険証(コピー)または健康保険の被保険者であることが証明できる書類			保険者、市区町村役場		健康保険証(コピー)以外を提出する場合、国民健康保険加入者は最新の納税決定通知書(納付書)コピー、社会保険加入者は直近の給与明細のコピー、マイナンバーカードのコピーは不可
	(3)父母等の所得証明書(原本)			市区町村役場		初回のみ
	(1)本国からの送金の有無を確認する書類(原本)	▲	私費外国人留学生	本人	様式12	本人の申立書(原本)
	(2)独立生計申立書(原本)			本人	様式11	1ヶ月の収入金額、支出金額が妥当であること
	(3)父母等の公的機関発行の所得証明書(原本)			公的機関等		
	所見表	▲	博士後期・博士課程入学者	指導教員		入学後、1ヶ月以内に提出 様式は学生・留学生支援課に請求
	成績証明書		博士前期・修士課程入学者 ※入学する日の属する学期の申請のみ	出身学校		卒業時の確定したもの (内部進学者は不要)

※申請時に提出できない書類については、その旨を付箋等にメモ書きすると共に準備ができ次第速やかに学生・留学生支援課に提出してください。郵送先は裏表紙に記載しています。

半額免除
 大学の授業料免除制度における収入・所得限度額の目安(独立生計者、留学生を除く)
 単位:千円

同一生計の世帯人数		給与収入(※1)		給与外所得(※2)	
(※3)		自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
学部	2人	5,785	6,414	3,430	3,870
	3人	5,657	6,285	3,340	3,780
	4人	6,457	6,920	3,900	4,340
	5人	6,900	7,340	4,320	4,760
	6人	7,160	7,600	4,580	5,020
博士前期課程 修士課程	2人	6,128	6,690	3,670	4,110
	3人	6,057	6,640	3,620	4,060
	4人	6,780	7,220	4,200	4,640
	5人	7,230	7,670	4,650	5,090
	6人	7,500	7,940	4,920	5,360
博士後期課程 博士課程	2人	7,390	7,830	4,810	5,250
	3人	7,530	7,970	4,950	5,390
	4人	8,210	8,650	5,630	6,070
	5人	8,780	9,220	6,200	6,640
	6人	9,120	9,560	6,540	6,980

※1 源泉徴収票の支払金額欄(給与所得控除前の金額)

※2 確定申告書の所得金額欄(必要経費を差し引いた所得金額)

※3 目安を算定した家族状況

2人…父または母+本人 ★母子父子控除あり

3人…父+母(専業主婦)+本人

4人…父+母(専業主婦)+本人+公立高校生(自宅通学)

5人…父+母(専業主婦)+本人+公立高校生(自宅通学)+中学生

6人…父+母(専業主婦)+本人+公立高校生(自宅通学)+中学生+小学生

免除の基準の収入・所得金額は就学者を除く同一生計家族全員分の合計で各人別に計算することになっていますが、この目安は一人だけ収入があるものとして計算しています。また、個別の家族の状況によって限度額は上下動します。あくまで目安としてご覧ください。

※4 全額免除は、学力基準及び家計基準を満たす方のうちから、予算の範囲内で家計が困難な方から順番に許可されますので、各期の申請状況によって全額免除になる家計は異なります。

※5 授業料免除は予算の範囲内で免除が許可される制度ですので、目安額を下回ったからといって免除が許可となる訳ではありません。

入学料・授業料免除の学力基準

成績が次の基準に達していない者は、原則として免除の対象となりません。

大学 院 生	【修士課程、博士前期課程、専門職学位課程の1年次生】	【修士課程、博士前期課程、専門職学位課程の2年次生】
	出身大学の学業成績の平均値が2.0以上（別式1）または3.0以上（別式2）	1年次において15単位以上を修得し、かつ学業成績の平均値が2.2以上（別式1）
	【博士課程、博士後期課程】 指導教員の所見が学業優秀	

※ 標準点は、学業成績の平均値3.0（別式2）を基準として、直前半期までの各学部 of 成績状況を踏まえ学部間の機会均等に留意し、大学の選考会議が申請期ごとに決定します。

※ 別式1

$$\text{平均値} = \frac{(\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)}{\text{総修得単位数}}$$

(小数点第2位を四捨五入)

別式2

$$\text{平均値} = \frac{(\text{Sの単位数} \times 5) + (\text{Aの単位数} \times 4) + (\text{Bの単位数} \times 3) + (\text{Cの単位数} \times 2)}{\text{総修得単位数}}$$

(小数点第2位を四捨五入)

家 庭 調 査

①本人住所 〒
 ②家族住所 〒

本人が入学後に居住する住所を記入してください。(未定の場合は記入せずに提出してください。)

職業は会社員、地方公務員、食料品小売業、農業等、勤務先は〇〇会社、△△市役所、××商店等、無職の場合も主婦、年金受給等具体的に記入し空欄にしないでください。

携帯電話 ()-()-()

	職業・勤務先及び収入状況等	現職 就職年月	年間収入金額	
			給与・年金の 収入金額	給与以外所得金額 商・工・林・水・ 農業所得 雑所得
同居・別居を問わず申請者と生計を一にする者を全員記入してください。 同居の家族は同一生計とみなします。			千円	千円
父		年 月～	千円	千円
母		年 月～	千円	千円
父又は母死亡・生別の場合	その年月(年 月) 理 由 ()			
主たる家計支持者が無職(失職)の場合	その年月(年 月) 理 由 ()			
理由は、病死、事故死、離別、定年退職、会社閉鎖等と具体的に記入してください。				
家計支持者と同居している祖父母、同一生計で各種学校、幼稚園、予備校等、「④就学者」欄以外の者を記入してください。		年 月～	千円	千円
		年 月～	千円	千円
		年 月～	千円	千円

③就学者を除く家族

家計支持者と別居している者に○印

主たる家計支持者に○印

同一生計の家族及び所得者	④	就学	氏名	年齢	※設置者	在学学校名	学年	入学年度	※授業料免除	本人収入 (独立生計者) (定職、送金等)	
			続柄						兄弟姉妹等前年度免除状況 (国公立大学等在学者のみ)	給与等	
			※通学別 自宅・自宅外	本人		国立 大分大学			前期 後期		
			小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学（大学院、専攻科、別科及び短期大学を含む。）、特別支援学校及び専修学校（高等課程、専門課程）に在学する者を記入してください。			全半無 全半無	千円				
※臨時 ・有 ・無	⑤	臨時 ・有 ・無	※4月進学・就職予定の兄弟等で記入時点で未定の場合は鉛筆書きで記入をし、決まり次第必要証明書類（様式4や様式2等）を奨学支援係へ追加で提出してください。					全半無 全半無	千円	雑所得、仕送り等	
			退職金	退職者氏名	収入期日	年 月 日			全半無 全半無	千円	
			退職一時金	勤続年数 年、一般・障害・死亡退職の別	収入金額	千円			全半無 全半無	千円	
			保険金	基準日前6ヶ月以内に受給した臨時収入（予定を含む。）、有無を○で囲んでください。	年 月 日			全半無 全半無	千円		
⑥	障害 関係	※種別	生命保険（満期・障害・死亡）・損害保険の別	必要経費	千円			全半無 全半無	千円		
			資産の譲渡	収入期日： 年 月 日	収入金額	千円			全半無 全半無	千円	
			による所得	心身障害は、障害者手帳、障害年金、介護は要介護2以上の認定等を受けている場合。長期療養は、基準日以前6ヶ月以上又は以後6ヶ月以上の見込み。該当の種別を○で囲んでください。	必要経費	千円			全半無 全半無	千円	
			山林所得	収入金額	千円			全半無 全半無	千円		
⑦ 免除・徴収猶予を願い出た特別な事情及び理由を具体的に記入してください。 ※理由は3行以上記入すること。											
単に「家計困難」と書くのではなく、その困難な理由、申請する事情及び家庭調書に表せない事情等を具体的に記入してください。また、主たる家計支持者が、無職、失業等の場合は、就業見込の有無及び生活費の出所を明記してください。											

入学料免除・徴収猶予申請、授業料免除申請共通様式

注意事項

○入学料免除・徴収猶予と授業料免除の双方の申請を希望される方は入学料免除・徴収猶予と授業料免除の双方の申請書の提出が必要となりますのでご注意ください。（添付する証明書類は1組で構いません）

○後期分の授業料免除の申請を希望される方は8月中旬頃申請スケジュールを掲示しますので、それに従って申請期間中に申請を行ってください。（授業料免除申請を希望される方は毎年、前期分（例年1月中旬頃にスケジュール発表）、後期分（例年8月中旬頃にスケジュール発表）毎に申請が必要となります）

※ 申請スケジュールは変更になることがありますので、その都度掲示板でご確認ください。

○源泉徴収票、領収書等を添付する場合はA4用紙にコピーするか、A4用紙の台紙に貼ってご提出ください。

該当者は☑してください。
 □住民税非課税世帯
 □東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震被災者（主たる家計支持者が所有する自宅家屋が半壊以上）
 □平成30年7月豪雨、令和元年中の激甚災害（主たる家計支持者が所有する自宅家屋が半壊または床上浸水以上）

※申請をするものについて、いずれかのアルファベットを必ず○で囲んでください。

2026年度 入 学 料
 A. 徴収猶予のみ
 B. 免除及び徴収猶予
 C. 免除のみ
 願

大 分 大 学 長
 殿

年
 月
 日

※
 学部
 研究科
 受験番号
 学籍番号

フリガナ
 本人氏名

※男・女

（自署）保護者等（本人との続柄

フリガナ
 氏 名

私は、家庭調書に記載のとおり入学料の納付が困難ですので、2026年度入学料の免除・徴収猶予を許可くださるようお願いいたします。
 なお、免除・徴収猶予の判定期間中は、入学料の納付を猶予くださるよう併せてお願いいたします。
 ただし、入学料免除の結果が全額免除とならなかった場合、あるいは入学料徴収猶予の結果が不許可となった場合は、結果を告知した日から14日以内に、入学料徴収猶予の許可を受けた場合は指定の期限内までに入学料を必ずお支払いします。
 支払わない場合は大分大学の入学許可が取り消しとなっても差し支えありません。
 なお、入学辞退をした場合はいかなる事由でも入学料を納付します。

（前期基準日：2026年4月1日 後期基準日：2026年10月1日）

＊太線枠内は大学記入欄につき記入不要

家 庭 調 書									
①本人住所		〒				固定電話 () - () - () 携帯電話 () - () - ()			
②家族住所		〒				固定電話 () - () - () 携帯電話 () - () - ()			
同一生計の家族及び所得 主たる家計支持者と同居している者に○印 家計支持者を除く家族に×印	③就学者を	○続柄	氏 名	年 齢	職業・勤務先及び収入状況等	現 職 就職年月	年 間 収 入 金 額		
		×					給与・年金の 収入金額	給与以外所得金額 商・工・林・水・農業所得 雑所得	
		父				年 月～	千円	千円	
		母				年 月～	千円	千円	
		父又は母死亡・生別の場合					その年月 (年 月)	理由 ()	
	主たる家計支持者無職（失職）の場合					その年月 (年 月)	理由 ()		
						年 月～	千円	千円	
						年 月～	千円	千円	
						年 月～	千円	千円	
						年 月～	千円	千円	

同一生計の家族及び所得	④	就学	本人	氏名	年齢	在学学校名	学年	入学年度	* 授業料免除 兄弟姉妹等前年度免除状況 (国公立大学等在学者のみ) 前期 後期 全：半：無 全：半：無 授業料年額 千円 全：半：無 全：半：無 授業料年額 千円 全：半：無 全：半：無 授業料年額 千円 全：半：無 全：半：無 授業料年額 千円	本人収入 (独立生計者) (定職、送金等)
		自宅・自宅外				国立 大分大学		年度		給与等 千円
		自宅・自宅外				国立		年度		
		自宅・自宅外				国立		年度		
		自宅・自宅外				国立		年度		雑所得、仕送り等 千円
		自宅・自宅外				国立		年度		
		自宅・自宅外				国立		年度		所得金額
⑤	※	臨時 有・無	退職金	退職者氏名	収入期日	年	月	日	千円	
			退職一時金	勤続年数	年、一般・障害・死亡退職の別	収入金額	千円			
			保険金	被保険者氏名	収入期日	年	月	日	千円	
				受取人氏名	収入金額	千円				
			資産の譲渡 による所得	生命保険（満期・障害・死亡）・損害保険の別	必要経費	千円				
				収入期日： 年 月 日	収入金額	千円	千円			
			山林所得	収入期日： 年 月 日	収入金額	千円	千円			
⑥	障害 関係	※種別	本人との続柄	療養等の期間	療養に要した費用					
		心身障害・原爆被爆・長期療養（6ヶ月以上）		年 月 日～	千円					
		心身障害・原爆被爆・長期療養（6ヶ月以上）		年 月 日～	千円					
		心身障害・原爆被爆・長期療養（6ヶ月以上）		年 月 日～	千円					
⑦ 免除・徴収猶予を願い出た特別な事情及び理由を具体的に記入してください。 *理由は3行以上記入すること。										

* 太線枠内は大学記入欄につき記入不要

記入上の注意

- 1. ※の箇所は、該当するものを○で囲んでください。
- 2. ③欄は、同居の家族は同一生計とみなしますので、生計を一にする者を全員記入してください。
- 3. 虚偽の申請をした場合は、免除・徴収猶予を取り消すことがあります。

※以下大学記入欄につき記入しないこと

1. 家計

特 別 控 除			
ひとり親世帯	有 ・ 無	長期療養者のいる世帯	千円
障害者のいる世帯	人	主たる家計支持者別居	千円
生活保護世帯	有 ・ 無	火災・風水害・盗難等	千円
独立生計者	有 ・ 無	多子世帯	有 ・ 無

2. 学業

1 年 次 生	編入学	(備考) 特例記入
高校（又は大学）の成績	高校（または大学）の成績	

3. 大学認定欄

--

該当者は☑してください。□住民税非課税世帯 □東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震被災者（主たる家計支持者が所有する自宅家屋が半壊以上）□平成30年7月豪雨、令和元年中の激甚災害（主たる家計支持者が所有する自宅家屋が半壊または床上浸水以上）

2026年度授業料免除願

大分大学長 殿

年 月 日
(入学予定者は受験番号、継続在学学生は学籍番号を記入してください。)

※ 受験番号 _____
学部 _____
研究科 _____ 学籍番号 _____

フリガナ
本人氏名 _____

(自署) 保護者等 (本人との続柄 _____)
フリガナ
氏 名 _____

※男・女

私は、家庭調書に記載のとおり授業料の納付が困難ですので、2026年度 期分の授業料の免除を許可くださるようお願いします。なお、免除の判定期間中は、授業料の納付を猶予くださるよう併せてお願いします。

(前期基準日：2026年4月1日 後期基準日：2026年10月1日)

*太線枠内は大学記入欄につき記入不要

家 庭 調 書										
①本人住所		〒				固定電話 () - () - () 携帯電話 () - () - ()				
②家族住所		〒				固定電話 () - () - () 携帯電話 () - () - ()				
同一生計の家族及び所得 主たる家計支持者と別居している者に×印	③就学者を除く家族	○続柄	氏 名	年 齢	職業・勤務先及び収入状況等	現 職 就職年月	年 間 収 入 金 額			
		×					給 与 ・ 年 金 の 収 入 金 額	給与以外所得金額 商・工・林・水・ 農業所得 雑 所 得		
		父				年 月～	千円	千円		
		母				年 月～	千円	千円		
		父又は母死亡・生別の場合 その年月 (年 月) 理由 ()								
		主たる家計支持者無職（失職）の場合 その年月 (年 月) 理由 ()								
						年 月～	千円	千円		
						年 月～	千円	千円		
						年 月～	千円	千円		
						年 月～	千円	千円		

同一生計の家族及び所得	④	就学	本人	氏名	年齢	在学学校名	学年	入学年度	* 授業料免除 兄弟姉妹等前年度免除状況 (国公立大学等在学者のみ) 前期 後期 全：半：無 全：半：無 授業料年額 千円 全：半：無 全：半：無 授業料年額 千円 全：半：無 全：半：無 授業料年額 千円 全：半：無 全：半：無 授業料年額 千円	本人収入 (独立生計者) (定職、送金等)	
		自宅・自宅外				国立 大分大学		年度		給与等 千円	
		自宅・自宅外				国立		年度			
		自宅・自宅外				国立		年度			
		自宅・自宅外				国立		年度			
		自宅・自宅外				国立		年度			
⑤	※	臨時 有・無	退職金	退職者氏名	収入期日			年 月 日	千円		
			退職一時金	勤続年数	年、一般・障害・死亡退職の別			収入金額	千円		
			保険金	被保険者氏名	収入期日			年 月 日	千円		
				受取人氏名	収入金額			千円			
			資産の譲渡 による所得	生命保険（満期・障害・死亡）・損害保険の別			必要経費	千円			
				収入期日： 年 月 日	収入金額			千円			
山林所得	収入期日： 年 月 日			収入金額	千円						
				必要経費	千円						
⑥	障害 関係	※種 別		本人との続柄		療養等の期間		療養に要した費用			
		心身障害・原爆被爆・長期療養（6ヶ月以上）				年 月 日～		千円			
		心身障害・原爆被爆・長期療養（6ヶ月以上）				年 月 日～		千円			
		心身障害・原爆被爆・長期療養（6ヶ月以上）				年 月 日～		千円			
⑦ 免除・徴収猶予を願い出た特別な事情及び理由を具体的に記入してください。 *理由は3行以上記入すること。											

* 太線枠内は大学記入欄につき記入不要

記入上の注意

- 1. ※の箇所は、該当するものを○で囲んでください。
- 2. ③欄は、同居の家族は同一生計とみなしますので、生計を一にする者を全員記入してください。
- 3. 虚偽の申請をした場合は、免除を取り消すことがあります。

※以下大学記入欄につき記入しないこと

1. 家 計

特 別 控 除			
ひとり親世帯	有 ・ 無	長期療養者のいる世帯	千円
障害者のいる世帯	人	主たる家計支持者別居	千円
生活保護世帯	有 ・ 無	火災・風水害・盗難等	千円
独立生計者	有 ・ 無	多子世帯	有 ・ 無

2. 学 業

1 年 次 生	編入学	(備考) 特例記入
高校（又は大学）の成績	高校（または大学）の成績	

3. 大学認定欄

無 職 の 申 立 書

年 月 日

大分大学長 殿

申請者 (学生)	(受験番号) 学籍番号		
	学部	学科・課程	年
	研究科	専攻	年
	氏 名		
申立人	氏 名		
	住 所		
	申請者との続柄		

申立人は現在無職であることに相違ありません。

申立人は下記について該当のものにレ点をつけ、必要事項を記入してください。

前職の有無 ☐ 有 1. 勤 務 先 _____

2. 在職期間 自 年 月 日
至 年 月 日

3. 身 分 ☐ 正社員（正職員） ☐ 臨時社員（パート・アルバイト）
☐ その他（ ）

4. 退職金受給の有無
☐ 有 有の場合退職金支給（予定）証明書を添付してください。
受 給 額 _____ 円
受 給 年 月 日 _____ 年 月 日
☐ 無

5. 失業給付金の受給の有無
☐ 有 有の場合雇用保険受給資格者証のコピーを添付してください。
☐ 無

☐ 無

*複数枚必要な場合は、各自でコピーしてください。

大分大学入学予定(在学)者【免除申請者】

(受験番号) 学籍番号		氏名	
----------------	--	----	--

給 与 等 証 明 書

(1) 氏 名 _____

(2) 住 所 _____

(3) 身 分 1. 正社員(正職員) 2. 臨時社員(パート・アルバイト) 3. その他()

(4) 雇用期間 年 月 日 ~

(5) 賞 与 1. 有 2. 無

(6) 給与等支給(見込)額

支 給 区 分	支 給 総 額	どちらかに○をしてください
年 1 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 2 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 3 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 4 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 5 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 6 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 7 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 8 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 9 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 10 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 11 月分	円	実 績 ・ 見 込
年 12 月分	円	実 績 ・ 見 込
夏 季 賞 与	円	実 績 ・ 見 込
冬 季 賞 与	円	実 績 ・ 見 込
合 計	円	実 績 ・ 見 込

※給与等支給(見込)額は、直近1年間(12ヶ月分)の支給総額を、採用後1年を経過していない場合は、
採用後1年間(12ヶ月分)の支給総額(見込を含む)を記入してください。

上記のとおり相違ないことを証明します。

年 月 日

事業所 所在地

名 称

証明者 所 属

氏 名

(印)

*複数枚必要な場合は、各自でコピーしてください。

ひとり親世帯申立書

大分大学長 殿

下記のとおり報告し、ひとり親世帯であることを申し立てます。

記

ひとり親世帯		☐ 生 別 ☐ 死 亡 (年 月)	
死別の場合	遺族年金受給の有無	☐ 有 ☐ 無	有の場合 ※出願時現在の年金支給（改定）通知書（コピー）等を添付してください。 (支給通知書の金額) × (年間支給回数) = (年 額) _____円 × _____回 = (年額) _____円
生別の場合	父または母より養育費等の援助の有無	☐ 有 ☐ 無	有の場合 (氏名) _____ より援助がある (月額) _____円 × １２月 = (年額) _____円
児童扶養手当受給の有無		☐ 有 ☐ 無	有の場合 ※出願時現在の支給（改定）通知書（コピー）等を添付してください。 (月額) _____円 × １２月 = (年額) _____円
児童手当受給の有無		☐ 有 ☐ 無	有の場合 ※出願時現在の支給（改定）通知書（コピー）等を添付してください。 (月額) _____円 × １２月 = (年額) _____円
親戚・知人からの援助の有無		☐ 有 ☐ 無	有の場合 (氏名) _____ (続柄) _____ より援助がある (月額) _____円 × １２月 = (年額) _____円

(該当項目の□に、レ点を付けてください。)

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

申請者 氏 名 _____ (受験番号)
(学生自署) _____ 学籍番号 _____

申立人 氏 名 _____ 続 柄 _____
(父母等自署)

兄弟等の在学状況等証明書

各学校等事務担当者 殿

大 分 大 学

貴学在学の兄弟姉妹等の下記事項について証明をお願いします。

貴学在学者（証明を受ける者）

学籍番号等	学 年	氏 名
	年	

大分大学入学予定（在学）者

(受験番号) 学籍番号	氏 名

記

- 通学区分 ☐ 自宅 ☐ 自宅外
- 設置区分 ☐ 国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構
- 学校区分 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他（ ）
- ☐ 大学、大学院、短大 ☐ 高等専門学校 ☐ 高等学校
- ☐ 中等教育学校後期課程 ☐ 専修学校（高等課程）
- ☐ 専修学校（専門課程） ☐ 専修学校（一般課程） ☐ 各種学校
- ☐ 放送大学（全科履修生） ☐ 放送大学（選科履修生）
- ☐ 放送大学（科目履修生） ☐ その他（ ）

2025年度の授業料免除状況（私立は記入不要です。）

- ・2025年度の授業料年額（ ）円
- ・2025年度の授業料免除状況

前期分 ☐ 全額免除 ☐ 半額免除 ☐ 部分免除（ ）円 ☐ 不許可 ☐ 申請なし

後期分 ☐ 全額免除 ☐ 半額免除 ☐ 部分免除（ ）円 ☐ 不許可 ☐ 申請なし

☐ 2026年度入学のため該当事項なし

上記のとおり証明します。

年 月 日

学 校 名 _____

担当者職名 _____

氏 名 _____ (印)

(専修学校の場合、所在地、市・区・郡まで記入ください。)

所 在 地 _____

*複数枚必要な場合は、各自でコピーしてください。

申立書（退職金なし、児童手当受給なし、その他）

年 月 日

大分大学長 殿

申請学生 (受験番号)
学籍番号

氏 名

申立人

(申請者との続柄)

下記のとおり相違ないことを申し立てます。

記

【申立内容】

1. 算定期間内に退職したが退職金がなかったこと
2. 中学生以下の子供がいるが児童手当を受給していないこと
3. その他、特に説明を要すること

※借金については、申し立てても控除にはなりませんのでご了承ください。

長期療養証明書

年 月 日

各診療機関 殿

申請者 (学生)	大 分 大 学	(受験番号) 学籍番号	
	学 部	学科・課程	年
	研究科	専攻	年
	氏 名		
	療養者氏名		
	住 所		
申請者との続柄			

※枠内は申請者側で記入し、下記部分を医療機関に証明してもらってください。

私（療養者）の診療状況を証明くださるようお願いします。

記

- (1) 病 名 _____ (プライバシーに関わるものは未記入でも構いません)
- (2) 診療開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
- (3) 診療見込期間 今後 _____ 年 _____ カ月程度
- (4) 治療に要した費用のうち食費を除く自己負担額
(直近12か月分の支払済みの金額を記入してください。)

年	月 (実績)	_____円	年	月 (実績)	_____円
年	月 (実績)	_____円	年	月 (実績)	_____円
年	月 (実績)	_____円	年	月 (実績)	_____円
年	月 (実績)	_____円	年	月 (実績)	_____円
年	月 (実績)	_____円	年	月 (実績)	_____円
年	月 (実績)	_____円	年	月 (実績)	_____円

合計 _____円

上記のとおり証明します。

年 月 日

所 在 地 _____
医療機関名 _____
医 師 氏 名 _____ (印)

(ご担当者 様)
基準日（前期分は4月1日、後期分は10月1日）現在、6ヶ月以上の期間にわたって療養中の場合、また、6ヶ月以上の期間にわたって療養が必要と認められる場合は、長期療養者として療養費の控除ができるようになっております。なお、不明な点がございましたら、大分大学学生・留学生支援課奨学支援係（097-554-7386）にお問い合わせください。

※ 複数枚必要な場合は、申請者が各自でコピーしてください。

医療費等集計表（医療機関等：_____）

- ・領収書を提出する場合は、医療機関、病気等ごとに本紙に集計して提出願います。
- ・領収書には時系列に本紙Noを付し、A 4 用紙に貼付してください。
- ・医療と介護の両方の領収書を提出する場合は、医療費と介護費用は別々に集計してください。
- ・基準日（前期分は4月1日、後期分は10月1日）を中心に6ヶ月以上（見込みも含む）の療養でない病気等は長期療養には該当しません。
- ・本紙が複数枚必要な時は、本紙をコピー願います。

(単位：円)

No	支払年月日	医療費等	保険者からの 補てん額	医療等を受けた人
(記入例)	2025年4月4日	94,000		父
	2025年4月25日	2,600		
	2025年5月16日	3,200		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
計				

- ※ 直近12か月分の支払済みの病院に支払った金額を記入してください。（差額ベット、食費等は除きます）
 ※ 保険者からの補てん額は病院に支払い後、高額医療等で補てんがあった場合、その金額を記入してください。

申請者 (受験番号)
 学籍番号 (_____
 氏 名 (_____)

単身赴任経費集計表

- ・直近12カ月の領収書等を本紙に集計して提出願います。
- ・領収書は該当項目単位に時系列でA4用紙に貼附してください。

(単位：円)

No	支払年月	住居費	住居手当	住居費 本人負担	電気代	ガス代	水道代	（単位：円） 単身赴任している 学資負担者
（記入例）	2 0 2 5 年 4 月 分	80,000	25,000	55,000	11,111	2,200	7,510	父
	2 0 2 5 年 5 月 分	80,000	25,000	55,000	10,223	3,500	0	
	2 0 2 5 年 6 月 分	80,000	25,000	55,000	5,740	4,500	8,100	
1	年 月 分							
2	年 月 分							
3	年 月 分							
4	年 月 分							
5	年 月 分							
6	年 月 分							
7	年 月 分							
8	年 月 分							
9	年 月 分							
10	年 月 分							
11	年 月 分							
12	年 月 分							
計								

申請者 (受験番号)
学籍番号 ()
氏 名 ()

被害状況届

大分大学長 殿

年 月 日

申請者 (学生)	(受験番号) 学籍番号		
	学部	学科・課程	年
	研究科	専攻	年
	氏 名		
保護者等氏名			
住 所			
申請者との続柄			

下記のとおり、被害を受けたので届けます。

- (1) 被害の種類 地震・台風・水害・火災・崩壊・その他 ()
- (2) 被害日時 年 月 日 時 分頃
- (3) 被害場所
- (4) 被害状況

- (5) 居 所 (被災により上記住所に在住していない場合記入のこと)
- TEL () ー

(6) 被害額

日常生活を営むために必要な最低限度の資材の被害額 (衣料、家具の購入費、修理費等)
※見積書、領収書等金額の分かるものを添付すること。

品 名	被害額 千円	品 名	被害額 千円

生産手段 (田畑、店舗等) に被害を受け、長期にわたって収入減となる年間金額

被害を受けた生産手段 ()
収入減となる年間金額 (円)
*長期にわたって収入減となると認められる金額を証明できるものを添付すること。

(7) 保険金・損害賠償金等の有無 (有・無)

保険金の名称		保険金	千円	既払保険料	千円
損害保険等の名称		保険金	千円	既払保険料	千円

*罹災証明書、固定資産証明書、保険金等の支払明細書及び領収書等を併せて提出すること。
確定申告時に雑損控除を行っていれば、その写しを添付すること。
これは、単に被害額や復旧費を控除するものではありません。

独立生計申立書

年 月 日

大分大学長 殿

申請者 (学生) (受験番号) 学籍番号

学部 学科・課程 年

研究科 専攻 年

氏 名

下記のとおり、私の1カ月の平均生活費を報告し、独立生計者であることを申し立てます。

記

収 入			支 出		
項 目	本 人	配偶者	項 目	本 人	配偶者
定 職	円	円	授 業 料	円	円
ア ル バ イ ト	円	円	通 学 費	円	円
親 か ら の 仕 送	円	円	本 代	円	円
預 貯 金 引 出 し	円	円	文 具 代	円	円
そ の 他 ()	円	円	そ の 他 ()	円	円
そ の 他 ()	円	円	そ の 他 ()	円	円
そ の 他 ()	円	円	衣 料 費	円	円
計	円	円	食 費	円	円
日本学生支援機構第一種奨学金	円	円	住 居 費	円	円
日本学生支援機構第二種奨学金	円	円	光 熱 水 費	円	円
() 奨 学 金	円	円	子 女 の 教 育 費	円	円
() 奨 学 金	円	円	医 療 費	円	円
() 奨 学 金	円	円	雑 費	円	円
合 計	円	円	合 計	円	円

* 1カ月の収入金額、支出金額が妥当な額となるように記載すること。
* 初めて独立生計の申請を行う者は、独立を確認するため父母の所得額・課税額証明書も提出すること。
* 本人以外の奨学金受給額も記入すること。

独立生計申立書

年 月 日

大分大学長 殿

申請者 (学生) (受験番号) 学籍番号

学部 学科・課程 年

研究科 専攻 年

氏 名

下記のとおり、私の 1 カ月の平均生活費を報告し、独立生計者であることを申し立てます。

記

収 入			支 出		
項 目	本 人	配偶者	項 目	本 人	配偶者
本 国 か ら の 仕 送 り	円	円	授 業 料	円	円
ア ル バ イ ト	円	円	通 学 費	円	円
配 偶 者 の 収 入	円	円	本 代	円	円
預 貯 金 引 出 し	円	円	文 具 代	円	円
そ の 他 ()	円	円	そ の 他 ()	円	円
そ の 他 ()	円	円	そ の 他 ()	円	円
そ の 他 ()	円	円	衣 料 費	円	円
そ の 他 ()	円	円	食 費	円	円
計	円	円	住 居 費	円	円
() 奨 学 金	円	円	光 熱 水 費	円	円
() 奨 学 金	円	円	子 女 の 教 育 費	円	円
() 奨 学 金	円	円	医 療 費	円	円
() 奨 学 金	円	円	雑 費	円	円
合 計	円	円	合 計	円	円

* 1 カ月の収入金額、支出金額が妥当な額となるように記載すること。
* 本国からの仕送りは申請時のレートで記入すること。
出入国管理法との関連もあるので正確に記入すること。
* 本人以外の奨学金受給額も記入すること。

本国からの送金に関する申立書

年 月 日

大分大学長 殿

申請者 (学生)	(受験番号) 学籍番号		
学部		学科・課程	年
研究科		専攻	年
氏 名			

1. 送金がある場合

このことについて、本国から下記の援助を受けています。

記

① 毎月の援助額 円

② 不定期な援助額 円

③ 合計(年間) 円

2. 送金がない場合

このことについて、本国から送金を受けていません。

※ 1 または 2 を○で囲み、必要事項を記入してください。

本人収入申立書

年 月 日

大分大学長 殿

(申請者自署)

学籍番号

氏名

私の収入については、以下のとおりであることを申し立てます。

該当するものに☑してください。

☐ 申請基準日において収入がない(予定を含む)
☐ 申請基準日において収入がある 下記のいずれかに☑してください
☐ 昨年は収入がない
☐ 昨年の1月～12月の収入金額が104万円以下です。
☐ 昨年の1月～12月の収入金額が104万円を超えます。※
※収入金額がわかる書類を提出してください。(源泉徴収票の写し・確定申告の写し・給与等証明書【様式2】など)

入学科免除・徴収猶予、授業料免除についてよくあるご質問

Q. 入学科免除・徴収猶予とはどういうものですか。

A. 入学科免除は、免除対象者について学力基準及び家計基準に基づき選考し、予算の範囲で入学科の全額または半額を免除することがあります。ただし、全額免除は予算の関係で通常実施されていません。

入学科徴収猶予は入学科の納付期限を延期するものであり、徴収猶予が許可になっても必ず決められた期間内に入学科を納付しなければなりません。徴収猶予が許可された場合の納付期限は、4月入学が9月末日、10月入学は3月末日です。徴収猶予についても家計基準に基づき選考があります。

Q. 入学科免除・徴収猶予の選考結果はどこで確認できますか。

A. 入学科免除・徴収猶予の結果については、4月入学は6月下旬頃、10月入学は11月下旬頃、保護者に文書で通知があります。

Q. 所得に関する証明書について、「所得額・課税額証明書」と「源泉徴収票」の両方を提出する必要がありますか。

A. 両方提出する必要があります。

「所得額・課税額証明書」は所得が有っても無くても、就学者と就学前の児童を除く同一生計の家族全員分を提出願います。市区町村役場で交付を受けられます。所得割額、均等割額の金額がわかるもの、記載省略の無いものを申し込んでください。

そのうえで、給与所得者は「源泉徴収票」を、農業・自営・商売等で確定申告をしている方は「確定申告書の控（第一表、第二表、第三表）」を、農業・自営・商売等で確定申告はせず市区町村民税・県民税の申告をされている方は「市区町村民税・県民税申告書の控」を、公的年金・企業年金・個人年金・遺族年金・障害年金等の年金収入がある方は「年金の源泉徴収票」または「年金振込通知書」を、コピーして「所得証明書」と併せて提出してください。

「所得額・課税額証明書」は4月入学は令和7年度（証明内容は令和6年分）、10月入学は令和8年度（証明内容は令和7年分）です。併せて提出が必要な「源泉徴収票」等は令和7年分の収入に係るものです。

Q. 母は専業主婦で収入はありません。所得額・課税額証明書は必要ですか。

A. 収入が無くても提出が必要です。「0円」の証明書を提出願います。

Q. 同一生計の家族が令和8年からパートの仕事を始めましたが、収入を証明する書類がありません。

A. 「0円」の所得証明書と勤務先で証明してもらった給与等証明書（様式2）を提出してください。

Q. 高校生以上の就学者の在学証明書は、各学校が発行する在学証明でもよいですか。

A. 国公立大学・国公立高専・各種専門学校に在学の場合は、必ず本学の「兄弟等の在学状況等証明書（様式4）」に兄弟等が在学する学校から証明をもらって提出してください。それ以外の学校は各学校が発行する在学証明書で結構です。

令和8年4月入学の兄弟等がいる場合は、兄弟等が入学した後にすぐ証明をもらって提出してください。

Q. 入学科免除が許可になる基準がありますか。

A. 家族の人数や構成、所得等の家計状況と学力状況で選考しますので、一概にはいえません。

なお、入学科免除は非常に限られた予算の範囲内で実施されるため、許可になる人はきわめて少数です。入学科免除実績をご参照ください。

Q. 独立生計者とはどのような人をいいますか。

A. 留学生で父母等が本国に居る人。

また、次の3点のいずれにも該当する人は独立生計者として認定されます。

① 所得税法上、父母等の扶養親族でない者

② 父母等と別居独立している者

③ 本人（配偶者がいるときは配偶者を含む）に収入があり、その収入について所得証明がなされ所得額・課税額証明書が発行される者。単なる一人暮らしは独立生計者ではありません。

Q. 入学する学期に入学科免除・徴収猶予と授業料免除の両方を申請するときは、証明書類は2組必要ですか。

A. 入学する学期に両方申請される方は、証明書類は1組で結構です。免除願はそれぞれ提出してください。

Q. 授業料免除が許可になる基準がありますか。

A. 家族の人数や構成、所得等の家計状況と学力状況で選考しますので、一概にはいえません。

また、授業料免除は限られた予算の範囲内で実施されるため、基準内であっても許可にならない場合があります。

Q. 前期は半額免除だったので、後期も半額免除となりますか。

A. 授業料免除の申請・選考は、半期ごとにそれぞれ行われます。

また、学力状況、家計状況、申請者数、申請者の状況及び予算等はその都度変動しますので、半期ごとに選考結果が異なることがあります。

Q. 授業料免除の選考結果はどこで確認できますか。

A. 授業料免除の結果については、前期は8月中旬頃、後期は1月中旬頃、本人に大学から配布のあったメールアカウントに個別にメールで通知をする予定です。

入学科免除のように保護者に文書による通知はありませんので、申請者が各自自分で確認願います。

申請チェックシート

提出日： 年 月 日

申請者	学部・研究科
(受験番号) 学籍番号	氏 名

- ・基準日は前期入学は2026年4月1日、後期入学は2026年10月1日です。申請書類は基準日の状況を見越して記入してください。
- ・申請書類提出後に、追加・不足書類があり大学が指定する日までに提出しない場合は、書類不備で選考対象から除外します。
- ・審査上、確認事項が生じた場合は、申請書に記載された申請者本人の電話に連絡します。大学と連絡が取れるようにしておいてください。大学が申請者と連絡が取れないことにより申請者が不利益を被った場合、大学はその責を負いません。

※このチェックシートは、申請書類を提出する前に不足書類がないか確認するのにお使いください。
提出する必要はありません。

●申請者全員が提出するもの（枠内全て提出）

☐ 2026年度入学科免除・徴収猶予願、2026年度授業料免除願の申請するもの
☐ 所得額・課税額証明書（原本） → 所得の有無にかかわらず就学者・就学前の児童を除く申請者本人・同一生計の家族全員分
※ 記載省略の無いもの → 市区町村役場で発行される最新のもの（記載省略の無いもの） 1年間の収入・所得、市・県民税の課税額、所得割額、均等割額が記載されているもの。 各市区町村で名称が異なることがあるので、注意してください。
☐ 本人収入申立書（様式13）

●本人または家族の状況により提出する書類 ※（「いる」または「はい」にチェックしている場合該当する書類を提出。）

- (1) 給与収入のある人がいますか？（令和7年以前から同じところに勤務している人）

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 令和7年分源泉徴収票コピー（給与収入のある人） ※複数の勤務先がある場合は全て提出。
------------------------------	---

- (2) 給与収入のある人で令和7年以降に就職・転職（パート含む）した人はいますか？

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 令和7年分源泉徴収票で現職分の支払額が分かれば令和7年分源泉徴収票、分からなければ現勤務先で証明してもらう給与等証明書（様式2）、証明してもらえない時は現職の給与がわかる書類
------------------------------	--

- (3) 営業所得、農業所得、不動産所得等その他臨時所得の給与以外の所得がある人がいますか？

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 確定申告または市県民税申告のコピー 令和8年2～3月申告の令和7年分（原則として税務署等の受付印のある第一表から第三表）
------------------------------	---

- (4) 児童手当受給者・児童扶養手当受給者はいますか？

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 月額確認のできる 児童手当通知書 のコピー、 児童扶養手当通知書 のコピー
------------------------------	--

- (5) 年金・恩給等受給者はいますか？

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 年金の源泉徴収票 のコピーか 最新の年金振込通知書 のコピー
------------------------------	---

- (6) 雇用保険受給者はいますか？（基準日現在受給している予定の場合）

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 雇用保険受給資格者証の全てのページ のコピー
------------------------------	--

- (7) 生活保護受給世帯ですか？

☐ いいえ	☐ はい → 生活保護決定（変更）通知書（月額の記載されたもの） のコピー
------------------------------	--

- (8) 退職者はいますか？（入学科免除・徴収猶予は令和7年4月1日以降・授業料免除は令和7年10月1日以降収入の退職金が対象）

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 退職金が振り込まれた日にちと金額の分かるもの のコピー → 退職金の無かった人は 退職金無しの申立書 （様式5）
------------------------------	--

- (9) 保険金を受け取った人はいますか？（満期保険金、死亡保険金等）（入学料免除・徴収猶予は令和7年4月1日以降、授業料免除は令和7年10月1日以降収入の保険金が対象）

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 保険金支払証明書等、 支払保険金額・支払日・既払保険料の分かるもの のコピー （既払保険料＝契約後今までに契約者が支払ってきた保険料）
------------------------------	--

- (10) 家族に、高校生以上の就学者はいますか？

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 国公立大学、国公立高専、各種専門学校…兄弟等の在学状況等証明書 （様式4） 本学の書式のみ有効 → 私立大学、私立高専、高等学校、予備校、職業能力開発校等…その学校の所定の在学証明
------------------------------	---

- (11) ひとり親世帯ですか？ ※就学者と祖父母の世帯も含みます

☐ いいえ	☐ はい → ひとり親世帯申立書 （様式3） 遺族年金、養育費、児童扶養手当、児童手当、親戚等の援助の有無と金額を記入 → 遺族年金、児童扶養手当、児童手当の金額がわかるもの のコピー
------------------------------	--

- (12) 家族に心身障害者はいますか？

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 心身障害者手帳 のコピー（障害の等級を確認） → 障害者年金の金額がわかるもの のコピー → 療育手帳 のコピー
------------------------------	--

- (13) 家族に介護保険利用者（要介護2以上の認定者）はいますか？

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 要介護認定通知書（要介護2以上） のコピー（氏名と介護の等級が分かるように） → 介護施設等の自己負担が分かる 領収書 のコピーに 医療費等集計表 （様式7）を付す
------------------------------	---

- (14) 家族に長期療養者（6ヶ月以上の診療（通院等））の人がいますか？

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 長期療養証明書 （様式6）に病院等で証明を受ける（提出は任意） → 証明が不可能な場合は、 6ヶ月以上の領収書 のコピーに 医療費等集計表 （様式7）を付す
------------------------------	---

- (15) 主たる家計支持者が転勤により単身赴任で別居している人がいますか？

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 自己負担の住居費、光熱水費の領収書 のコピーに 単身赴任経費集計表 （様式8）を付す
------------------------------	---

- (16) 学資負担者の死亡はありませんでしたか？（令和7年4月1日以降）

☐ いない	☐ いる（続柄： ） → 死亡診断書 （コピー）または死亡が確認できる書類（戸籍抄本等）（コピー） → 死亡保険金等がある場合は、 支払保険金額・支払日・既払保険料のわかるもの のコピー （既払保険料＝契約後今までに契約者が支払ってきた保険料）
------------------------------	--

- (17) あなたは親等の扶養に入っていない独立生計者ですか？
（独立生計者の条件は「よくあるご質問」を確認願います。）

☐ いいえ	☐ はい → 独立生計申立書 （様式10）1ヶ月の収入金額、支払金額が妥当であること → 健康保険証 （コピー）または健康保険の被保険者であることが証明できる書類 → 恒常的な収入がある場合はその収入を証明する書類
------------------------------	--

- (18) あなたは、外国人学生ですか？

☐ いいえ	☐ はい → 本国からの送金の有無を確認する書類 （様式12） → 独立生計申立書 （様式11）1ヶ月の収入金額、支払金額が妥当であること → 父母等の公的機関発行の所得証明書 （原本）
------------------------------	--

【問い合わせ先】

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
大分大学学生支援部学生・留学生支援課
奨学支援係

Tel. 097-554-7386

Fax. 097-554-7459

場所 教養教育棟1階

申請後、提出された書類等について確認をしたり、追加の書類を依頼することがあります。申請者（学生）は、担当からの連絡に速やかに対応できるよう、**予めこの電話番号を登録**しておいてください。

